

円高等対策カウンセリング事業

従業員の精神安全衛生対策について学ぶ



本会では、県の委託を受け、諸課題に直面する中小企業者を支援すべく「円高等対策カウンセリング事業」を実施している。今回、この一環として、高崎機械工業協同組合（荻野高理事長、組合員48人）を対象に、「従業員のうつ病等の精神安全衛生対策について」をテーマに講習会を開催。講師で社会保険労務士の新井政信先生は次のように解説した。

社会や労働環境が変化する中、労働者の「心の健康問題」が深刻化している。厚労省調査では、仕事や職業生活に関する強い不安・悩み・ストレスがある労働者の割

合は58%で、中でも群馬県は70%を超えている。また、警察庁統計では、自殺者は毎年3万人を超える水準。仕事に起因するストレスや過労がうつ病等を発症し、自殺に至る。それが労災認定される。

〈事例1〉

過労自殺に対して安全配慮義務違反による損害賠償を初めて認められた最高裁判決。入社2年目の男性営業社員（24歳）は、入社当時は明朗快活、責任感が強かったが、半年経過後、徹夜を含む慢性的な残業、有給休暇も取れない状況に置かれ、これを上司も認識していたが改善を行わなかった。仕事の区切りがついた直後体調が悪いと会社を欠勤、自殺。損害賠償和解金は1億6800万円。

〈事例2〉

係長昇格後に上司から人格や人間性を否定するような叱責を受け、営業以外の業務を同時平行に行うなど会社から特段の支援もないまま残業時間は80〜120時間で推移。3カ月後「うつ病」と診断。

〈事例3〉

飲食店のサブマネージャーが帰宅後死亡。出勤簿により出勤状況を確認した労働基準監督官は問題

ないとしたが、ガードシステムの記録から、1年後労災認定。

新井先生は、企業責任として、次の3点を強調。

- ① 使用者は、業務に伴う疲労や心理的負荷等が過度に蓄積し、労働者の心身の健康を損なわないよう注意する義務を負う
 - ② 企業は労働者の健康を把握し、業務の負荷による健康状態の悪化を防ぐための措置を取るべき
 - ③ 事業者が代わって、業務の指揮監督の権限を持つ管理監督者が安全配慮義務を遂行すること、就業規則見直し等も大切だが、先ずは新入社員教育。近年は学校で強く指導しないため、何も分らない若者が入社してくる。組合や中央会・会議所等の新入社員教育を是非受講させ、基礎を教える。
- 次に、精神的な産業医を見つけてもらうこと。会社は常に従業員に気を遣い、声掛けをすること。もし落ち込んでいる従業員がいたら、強引にでも産業医に診てもらおう。「会社は従業員に気を遣っている」「精神障害等のないよう努めている」ということを従業員に分かってもらうことが、会社を守ることになる。

女子職員研修会開催

諏訪の精密加工技術と白州の天然水工場を視察

11月7日、恒例の女子職員研修会を開催。今回は、長野県下諏訪町の「諏訪湖時の科学館・儀象堂」と山梨県北杜市の「サントリー天然水白州工場」を訪問、視察研修を行った。

「諏訪湖時の科学館・儀象堂」は、時と時計のミュージアムというコンセプトで1997年に開館。時の歴史と諏訪の技術力、日本のものづくりの原点を紹介する。

係員の出迎えのもと、世界で初めて復元したという大型天文観測時計塔「水運儀象台」を視察。これは中国北宋時代の首都「開封」に建設され、時計と天体観測装置が一緒になった天文台で、その動



時計作りを体験

力源は水力。162体のカラクリ人形が時刻の札を表示し、鐘や太鼓を鳴らして時を知らせる。

次いで、国内唯一の時計組立体験工房に案内され、国家資格を有するセイコーエプソンOB3人の技師の指導を受け、ムーブメントの組立てから白木の文字盤への組み込み、針付けを体験。自由に装飾を施し、木製時計を完成させた。細かい作業に四苦八苦しながらも、オリジナルの置時計の完成に喜びもひとしお。

展示室では、掛時計や置時計など地元セイコー社の時計をメインに、200点を超すコレクションが発売当時の価格も付して紹介されており、諏訪の時計作りの歴史なども学ぶことができた。また、ゼンマイを巻いてギアが動く仕組み、振り子の仕組みなどの体験コーナーも好評。ものづくりの楽しさや技術の素晴らしさを再認識する見学となった。

「サントリー天然水白州工場」は1996年に稼働、2010年に最新鋭設備の導入によりミネラルウォーター専用工場となった。電気バスに乗車して工場へ。飲料業界最大規模という太陽光発電

パネルを工場の屋根に設置し、クリーンエネルギーの利用を推進しているとのこと。ビデオを視聴し生産工程の説明を受けるが、説明の後には周囲の曇りガラスが一瞬にして透明に。生産現場が一面に広がる演出に参加者一同は感嘆の声。水の充填過程とともに環境に配慮した梱包過程を視察した。

続いて、サントリーが扱うフランス産のヴィツテル（硬度300）と天然水南アルプス（硬度30）を飲み比べ、味の違いを確認。口に入れた瞬間に違いが感じられ、より一層水に興味を持てるような体験で、誰もが楽しみながら学ぶことができた。



天然水工場